互独またけり



「モニュメント永遠の灯&佐田岬灯台」

2018年 (平成30年) 7月号 第120号

◆平成29年度決算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	······ 2 ~ 5
◆平成31年の「共済グループ保険」	の見直し内容について・・・・ 6
◆お知らせ・Q&A・・・・・・・・・・	······································
◆生きるためのがん保険Days1・・	
◆共済グループ保険募集のご案内	j

第125回理事会・第33回評議員会

平成29年度決算



第125回理事会

合

第33回評議員会



各会計の決算概要は次のとおりです。いて、原案のとおり議決されました。開催の第125回理事会で承認され、開催の第125回理事会で承認され、

平成29年度決算に係る各事業会計の概要

● 平成29年度末会員数等

(単位:人) 分 区 被扶養者数 会員数 14,535 共済組合組合員 16,139 現 職 他 268 92 そ の 会 5 互 助 員 計 14,808 16,232 職 会 員 等 3,401 1,926 退

18,209

18,158

● 平成29年度掛金率・負担金率

A STATE OF THE STA		- 12	里位:‰)
区	分	一般職	特別職
	給付事業会計	0.5	0.4
44 	退職福祉事業会計	0.5	0.4
掛金率	共済事業会計	1.0	0.8
	計	2.0	1.6
	給付事業会計	2.0	1.6
台扣令壶	退職福祉事業会計	_	_
負担金率	共済事業会計	_	_
	計	2.0	1.6
	給付事業会計	2.5	2.0
合 計	退職福祉事業会計	0.5	0.4
	共済事業会計	1.0	0.8
	計	4.0	3.2

● 会員数及び平均給料月額の推移 ●





正味財産増減計算書総括表

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科目	合 計	法人会計	公益事業会計	給付事業会計等	厚生事業会計
I 経常収益の部					
基本財産運用益	2,330	2,330			
特定資産運用益	2,560,241			2,560,241	
事 業 収 益					
受取掛金・受取負担金	191,980,620			191,980,620	
受取保険手数料	29,825,263				29,825,263
長期前受収益引当預金取崩収益	72,755,198			72,755,198	
拠出金等預り金取崩収益	16,787,000			16,787,000	
雑 収 益	96,319			46,859	49,460
他会計振替額	2,951,274		2,951,274		
支払準備金取崩収益	1,809,000			1,809,000	
経常収益合計(A)	318,767,245	2,330	2,951,274	285,938,918	29,874,723
正味財産期首残高	337,972,274	33,249,912	0	230,244,402	74,477,960
収 益 合 計(B)	656,739,519	33,252,242	2,951,274	516,183,320	104,352,683
Ⅱ 経常費用の部					
事 業 費	230,604,928		2,951,274	227,653,654	
管 理 費	40,491,190	3,776,681		18,888,032	17,826,477
他会計振替額	2,951,274				2,951,274
法 人 税 等	2,609,161	356		388,705	2,220,100
経常費用合計(C)	276,656,553	3,777,037	2,951,274	246,930,391	22,997,851
Ⅲ 経常外費用の部					
その他の経常外費用(D)	26,301	0	0	26,301	0
当期正味財産増減額(A-C-D)	42,084,391	△ 3,774,707	0	38,982,226	6,876,872
正味財産期末残高(B-C-D)	380,056,665	29,475,205	0	269,226,628	81,354,832

総括表(経常収益) 318,767千円

総括表(経常費用) 276,656千円

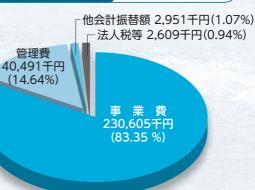
拠出金等預り金取崩収益 16,787千円(5.27%) — 特定資産運用益 2,560千円(0.80%) 基本財産運用益 2千円(0.01%)

長期前受収益 引当預金取崩収益 72,755千円 (22.82%)

事業収益 221,807千円 (69.58%)

雑収益 96千円(0.03%)

-支払準備金取崩収益 1,809千円(0.57%) - 他会計振替額 2,951千円(0.92%) (0.80%) I%)



各事業会計の概要

おりです。 各会計の決算概要は 次のと



617万5千円を計上しました。 となった結果、正味財産期末残高 管理費等377万7千円で、当期 益等の2千円で、経常費用合計は 一味財産増減額377万5千円 経常収益合計は基本財産運用

平成29年度公益事業実施状況--覧表

(単位:円

法

会

計

		(+17.11)
事業項目	実施内容	金額
公立養護施設に対する奉仕事業	「青石寮」他3か所へ物品寄贈	998,480
地域住民の自治意識の啓発に関する事業	四国中央市他3か所へ物品寄贈	953,194
市町又は市町の職員が住民を対象として 行う文化活動に対する助成に関する事業	大洲市他3か所へ助成	999,600
合 [2,951,274

平成29年度給付金の給付状況-

(畄位・仕

				(単位:件、円)	
ĺ	項目 / 年度			29年度	
	ᆈ	只日 / 牛皮	件数	金額	
		入院差額料補助金	255	5,039,704	
		入 院 見 舞 金	264	5,280,000	
		災害見舞金	0	0	
		結婚祝金	257	7,425,000	
		出 産 祝 金	542	10,840,000	
	給	入 学 祝 金	1,375	34,375,000	
現		銀 婚 祝 金	162	2,430,000	
	付	永 年 会 員 祝 金	661	7,930,000	
職	事	死 亡 弔 慰 金	277	2,950,000	
会	***	人間ドック等補助金	10,872	10,871,390	
員	業	在宅看護見舞金	16	160,000	
只		遺児奨学一時金	2	200,000	
		生涯生活設計セミナー開催費	1	231,360	
		介護休業給付金	0	0	
		退会記念給付金	430	21,500,000	
		計 (A)	15,114	109,232,454	
	共済 事業	医療補助金(B)	5,265	44,657,200	
	,,,	退職医療給付金	4,635	56,077,000	
退職会員	退職	退職医療返還一時金	392	16,787,000	
	福 祉	退職医療死亡弔慰金	14	450,000	
員	事業	退職医療脱退一時金	8	450,000	
	*	計 (C)	5,049	73,764,000	
	合計	(A) + (B) + (C)	25,428	227,653,654	

公益事業会計

となりました。 結果、当期正味財産増減額は0円 厚生事業会計から同額を振替えた 公益事業費295万1千円は、

受取負担金及び長期前受収益引

給付事業会計等

する「退職福祉事業」会計の給付 状況等は、 及び「共済事業」と退職会員に対 経常収益合計は、 現職会員に対する「給付事業 次のとおりです。 受取掛金、

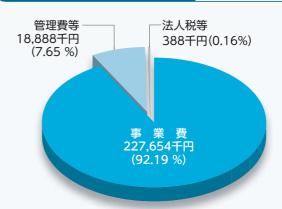
6千円を計上しました。 3898万2千円を生じた結果、 7千円で、当期正味財産増減額 693万円、経常外費用は、2万 当預金取崩収益等の2億8593 正味財産期末残高2億6922万 業費(給付金)、 万9千円、 経常費用合計は、 管理費等の2億4

給付事業会計等(経常収益) 285,939千円

特定資産運用益 2,560千円(0.90%) 支払準備金取崩収益 拠出金等預り金取崩収益 1,809千円(0.63%) 16,787千円(5.87%) - 雑収益 47千円 長期前受収益 (0.02%)受取掛金 引当預金取崩収益 82,256千円 (28.77%) 72,755千円 (25.44%)

受取負担金 109,725千円 (38.37%)

給付事業会計等(経常費用) 246,930千円



平成29年度共済グループ保険給付金給付状況

(単位:件、円)

		100		(丰区・17、13/
	項目 / 年度			_29年度
	254	□ / 干及	件数	金額
	本	死 亡 保 険 金	18	91,000,000
	人	高度障害保険金	0	0
団	•	災 害 保 険 金	0	0
体	配	障害給付金	0	0
	偶者	災害入院給付金	48	10,332,900
定	18	小 計	66	101,332,900
期	子	死 亡 保 険 金	0	0
/Q		高度障害保険金	0	0
保		災 害 保 険 金	0	0
険		障害給付金	0	0
	/++	災害入院給付金	2	37,200
	供	小 計	2	37,200
団体	定期的	呆険プラス(本人・配偶者)	0	0
療	養	給付プラン	49	6,425,335
医療保障	死	亡 保 険 金	6	600,000
保障	入	院給付金	185	14,418,000
保険	小	計	191	15,018,000
医	療	費支援制度	9	225,000
重	病疗	克服支援制度	21	21,500,000
		合 計	338	144,538,435

益事業です。 数料収入により運営している収 積立年金を取り扱う会計で、手

経常収益合計は、受取保険

計上しました。

共済グループ保険 がん保険 万6千円を生じた結 振替額295万1千円を含む。 期末残高8135万4千 当期

正 味財

産 增

減

額

687

果

正

味

財

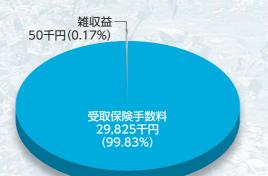
白

を

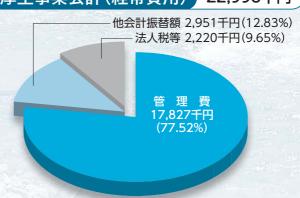
常費用合計は、 万8千円 料等2987万5千円で、 (公益事 管理費等229 業会計 への 経

厚生事業会計

厚生事業会計(経常収益) 29.875千円



厚生事業会計(経常費用) 22,998千円



平成31年の「共済グループ保険」の見直し内容について

主な内容をお知らせします。詳細につきましては、8月1日~9月7日の募集時期に募集担当保険会社の職員が皆様の職場に順次お伺いして、ご説明します。(平成31年更新用パンフレットに掲載)

1 保険料率の改定について

平成31年1月1日の更新日より、生保標準生命表改定を受け、保険料率が改定(引下げ)されます。

保険料率改定対象の制度	保険料率改定対象外の制度	
団体定期保険団体定期保険プラス	●医療保障保険●医療費支援制度●重病克服支援制度	

[※]保険料率の引下げに伴い、例年どおりの保険金の支払いが生じた場合には、配当率、配当金額も一律に低下します。(「医療費支援制度」及び「重病克服支援制度」は、配当金はありません。)

2 「団体定期保険」及び「団体定期保険プラス」のコース拡充について

(1)「団体定期保険プラス(本人)」に「X」コースを増設

「団体定期保険プラス(本人)」月払コースに[X]コース、ボーナスコースに[X1]及び[X2]コースを増設します。

(2) 「団体定期保険(配偶者)」及び「団体定期保険プラス(配偶者)」に保障額上位コースを増設

「団体定期保険(配偶者)」に「30」コースを、「団体定期保険プラス(配偶者)」に「800万円」コースを増設します。

- ※「団体定期保険」は、死亡・高度障害時の保障です。
- ※「団体定期保険プラス」は、死亡・高度障害時及び障害状態の際(障害年金1・2級に連動した)の保障です。

3 退職者継続加入要件と継続年齢の改定について

退職者継続加入要件の制度加入年齢及び年齢要件を撤廃し、「団体定期保険」及び「団体定期保険プラス」の継続可能年齢を更新日時点で満80歳6か月までの方に延長します。

退職時に本制度に加入している組合員(本人)が退職した場合、組合員(本人)・配偶者のみ退職時に加入していた保険金額(ただし、最高500万円(団体定期保険プラスの配偶者は最高400万円)を上限とします。)の範囲内で、満80歳6か月まで継続加入することができます。

退職した年の翌年1月1日現在の年齢が満54歳6か月を超え、かつ退職前3年間団体定期保険に継続加入している組合員(本人)が退職した場合、組合員(本人)・配偶者のみ退職時に加入していた保険金額(ただし、最高500万円(団体定期保険プラスの配偶者は最高400万円)を上限とします。)の範囲内で、満75歳6か月まで継続加入することができます。

※制度加入年数及び年齢要件の撤廃は、「医療保障保険」、「医療費支援制度」及び「重病克服支援制度」も同様の取扱いです。 ※従来どおり、「医療保障保険」及び「医療費支援制度」の継続可能年齢は満69歳6か月まで、「重病克服支援制度」の継続可能年齢は満71歳6か月までです。



お知らせ

(理事・監事)の就任任期満了に伴う役員

直	理事	菅 良二	再任
	理事	武智邦典	就任
町長	理事	岡原文彰	再任
	監事	岡本 靖	再任
	理事	山内貴志	再任
市町町	理事	神田紀香	再任
長以外	理事	河本 一	再任
	監事	瀬川幹雄	再任

む。)の就任評議員(学識経験評議員を含

員共済組合事務局長)がそれぞれには、加藤章氏(東温市長)が、また、伊藤正学識経験評議員が辞任た、伊藤正学識経験評議員が辞任とに伴う後任の学識経験評議員には、五井信正氏(愛媛県市町村職は、玉井信正氏(要媛県市町村職員が評議員が評議員が評議員が評議員が評議員が評議員を辞

選任され、就任されました。



加藤 章 評議員



玉井信正 評議員

会長及び副会長の就任

定され、就任(再任)されました。智邦典理事及び山内貴志理事が選管良二理事が、また、副会長に武管良二理事が、また、副会長に武平成30年6月20日開催の第

退職予定者相談会開催日程 平成30年度

計の参考に、是非ご参加ください。ますので、退職後の皆様の生活設日程等の詳細は、別途ご案内し



取扱いについて 共済グループ保険に係る[重病克服支援制度]の

- 加入はできますか。 支援制度」に配偶者である私だけのに加入していますが、「重病克服」 組合員である夫は、団体定期保険
- A 組合員(本人)が団体定期保険に加入し、併せて重病克服支援制度にきますが、配偶者だけの加入はできますが、配偶者だけの加入はできません。
- 合、引き続き加入はできますか。合、引き続き加入はできますか。方服支援制度(主契約)」に加入して克服支援制度(主契約)」に加入して利は、共済グループ保険の「重病
- A 互助会若しくは所属所から請求書 知を送付しますので、所属所を経 無して申請してください。保険金 のお支払いに該当した場合は、診 のお支払いに該当しの翌月が脱退日 となり、再加入はできません。 となり、再加入はできません。 となり、再加入はできません。 また、組合員が脱退する場合 また、組合員が脱退する場合
- 克服支援制度(特約付加)]に加入し 私は、共済グループ保険の「重病

きますか。 きますが、ア大疾病保険金の支払いに でいますが、ア大疾病保険金やが

A 7大疾病保険金のお支払いに該当 した場合は、7大疾病保障特約部 した場合は、7大疾病保障特約部 上皮内新生物保障特約は、引き続 上皮内新生物保険金のお支払いに該当

引き続き加入することができます。主契約及び7大疾病保障特約のみ脱退とな皮内新生物保障特約のみ脱退とな皮内新生物保障等約のみ脱退とながん上皮内新生物保険金のおがんと

- は、返金されるのでしょうか。
 ますが、脱退日以降の過払保険料払いを受けた場合は、脱退になり「重病克服支援制度」の保険金の支
- A 組合員(本人)が保険金のお支払い を受けた場合、診断書記載の翌月 (脱退日)以降の保険料は、保険 金と合わせて保険金請求時に記載 の指定口座へ返金しますが、配偶 有の過払保険料は、別途ご指定の 国座へ返金します。



「がん」を考える。それは、ご家族を想うこと。

あなたが、もし「がん」になった時、誰を頼りにしますか?いちばん頼れるのは、いつもそばで支えてくれるご家族です。しかし治療中は、経済的・精神的に、大きな負担をかけてしまう現実も…。大切なご家族のために、もう少し「がん」について考えてみませんか?

\NEW/

生きるための がん保険 Days

\NEW/

がんを経験された方へ

生きるためのがん保険

寄りそうDays

\NEW/

あなたの保障を最新化

生きるための がん保険

●募集代理店

南海放送サービス(株) 〒790-0811 松山市本町1丁目2番3号 フリーダイヤル 0120-11-1136 ●引受保険会社

アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社) 松山支店 〒790-0003 松山市三番町4丁目9番地6 NBF 松山日銀前ビル5F

アフラックコールセンター 0120-5555-95

平日9:00 ~ 18:00



締申 切 日込	期募間集	区分
9 月 10 日	8月 1日~9月7日	共済グループ保険

「様の職! H 加 を 共済グループ保険 程のとおり しますので、 集担当保険会社 増額のご検討をお願 場に順次お伺 実施 是非、 の募集を左 します。 0 この 職 員 ご説 が

共済グループ保険募集のご案内

互助会の概況

(平成30年度5月末現在)

·所属所数 42

·会 員 数 現職会員数 14,867 人 退職会員数 3,604 人

・被扶養者数 ・平均給料月額 17,818 人 311,608 円

表紙によせて

モニュメント永遠の灯&佐田岬灯台

佐田岬灯台は、西宇和郡伊方町の佐田岬半島にある灯台で、豊予海峡の航海の安全を100年に亘って見守っています。

駐車場から灯台までは遊歩道が整備され、「あなたが選ぶ日本の灯台50選」にも選ばれており、四<mark>国最西島の</mark>御籠島(みかごしま)には、佐田岬灯台点灯100年目を記念して御籠島展望所が建設されています。表紙の写真は、展望所に設置されている記念モニュメント「永遠の灯」から佐田岬灯台を眺めた景色で、とても素敵です。

また、展望所の近くには、要塞に設置されていた「洞窟式砲台跡」があり、当時あった砲台「三八式十二糎榴弾砲」(さんはちしきじゅうにせんちりゅうだんほう)のレブリカが設置されており、見学することができます。